

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スペースデザイン (Space Design)	授業コード	L040451
担当教員名	下島 啓吾	科目ナンバリングコード	L20404
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	コース選択必修 インテリアデザインコース 住居・インテリアコース 選択 建築コース 環境・地域コース 建築設計コース 建築工学コース 環境地域(まち)コース 環境地域(社会)コース	単位数	2
履上の注意または履修条件	刃物を扱うので、怪我に注意すること。作業しやすい格好をすること。飲食厳禁。		
受講心得	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーションで配布するレジュメは毎回持参する事。 ●毎回出席し、適宜配布される資料を精読し、理解をはかること。 ●限られた時間と空間での授業なので進行の早い人に合わせた進め方をします。 ●限られた講義の時間及び道具類を有効に使えるように、各自工夫すること。 ●作業の遅れは次週までに完了しておくこと。 		
教科書	使用しません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	随時紹介します。		
関連科目	造形 製図1 CAD製図		

授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● モノを作る意味と責任を理解した上で、持続的で平和な社会に貢献できる想像力と創造力のある人材育成に取り組みます。 ● 材料は実際に大分県内の山林を見て木材の流れを理解した上で、県産材を使用します。無垢の木材を使用する事により、地域性と素材に対する理解を深めます。 ● 自らコンセプトを設定したノックダウンスツール(組み立て式)のモックアップ(1/1現寸模型)を設計、製作する事を通して製作プロセスを理解し、人体のスケール感、素材とのつきあい方、工作方法などを身体で学習します。
授業の概要	<p>森林から木材になるまでの流れを見学し、素材の背景を理解します。その上で素材特性を最大限活かしたモノ作りを心掛けます。単体では体重を支えきれない木材で単一加工された部材を使用し、単体の集合体により構造的な強度を生み出す方法論を探る為の授業でもあります。無垢の木材の方向性を意識して適材適所に用いることは、経験値が重要な要素になります。短期間に少しでも木材特性を理解する為に必要なプロセスを通して、自分自身をクライアントに見立て、自分自身で設定した使用環境から時間、空間を考慮し、木材の特性を活かしたノックダウンスツール(組み立て式)を設計製作します。</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 課題の主旨、目的、到達目標、評価基準、スケジュール及び注意事項をレジュメで説明します。受講生の自己紹介として、選択理由、問題意識等の把握を行います。	
第2週：素材の特性	

<p>無垢の木材の特性を理解するため、課題で使用する素材と同じ大分県産の杉材から箸を小刀で削り出します。道具としての刃物及び、箸の基本的な要素と関係を学びます。工房に移り、木材の特性を各自体感します。</p>	<p>次週までに各自、1/5模型に必要な道具類を準備しておくこと。</p>
<p>第3週：人間工学、1/5ボディゲージ製作(骨格模型) 人骨模型を観察し、骨格と筋肉との関係を中心に説明した後、デッサンをすることにより理解を深めます。椅子設計に必要な人間工学の基本を学び、骨格模型(1/5)の製作に取り組みます。各自骨格模型の製作を通して人体の間接部分と、その可動領域について理解を深めます。</p>	<p>次回までに1/5ツール模型を完成させておくこと。</p>
<p>第4週：椅子、ツールの歴史、1/5ボディゲージ製作(骨格模型) 歴史上の椅子、ツールから、機能、コンセプトの多様性について説明した後、各自、歴史上のツールの中から1脚、自分自身が気に入ったツールを選び、そのツールの選択理由について自己分析を行うと共に、ツールの名前、製作年、作者、コンセプトをレポートA4用紙1枚にまとめてもらいます。出来た人は骨格模型を製作します。</p>	<p>次回までに自分の好きなツールを調査しA4用紙1枚にまとめて提出すること。</p>
<p>第5週：コンセプト、1/5ツール模型製作 模型製作の効果、重要性、養われる能力について説明します。その後、コンセプトについて説明し、各自コンセプトを決定後、ステレンボード及びバルサ材にて1/5模型製作を行います。</p>	<p>次回までにコンセプトをA4用紙1枚にまとめて提出すること。</p>
<p>第6週：1/5ツール模型製作、アイデア展開 アイデアの展開方法についての事例を紹介した後、コンセプトにそった異なる切り口を検討すると同時に、1/5模型を数多く作る事を主眼にラフモデルを製作します。各自、新たな問題の発見に努めながら模型を作る事により、アイデアの展開に取り組みます。</p>	<p>次回までに1/5模型を3個以上ステレンボード又はバルサで制作すること。</p>
<p>第7週：1/5ツール模型中間審査 アイデアの収束 1/5ツール模型製作 3案以上制作した模型を持ち寄り、中間審査を行います。各自持ち時間3分で行います。(学生の中からも意見を求めます。)多くのラフモデル、アイデアの中から良い部分、利用価値のあるものを選択し、それらを組み合わせることで最良の1/5模型にしていくように改良を行います。</p>	<p>1/5模型を3個以上持参すること。</p>
<p>第8週：アイデアの決定、1/5ツール模型製作 1/5模型の中から1/1モックアップ予定のものを検討する為、個別に面接し、方向性を決定します。また、効率的な作業を行う為に個々に合った加工手順、加工方法、必要な治具等の検討も同時に行います。</p>	<p>次回までに3案の中から1案に絞り持参すること。最終日までにバルサで1/5模型制作しておくこと。プレゼンテーションに持参すること。</p>
<p>第9週：木工道具の扱い方(安全性) 1/1ツール製作準備(図面、部材表) 安全に作業するため、1/1モックアップ製作に入る前に工房の場所、設備(手道具、電動工具)、作業場の使用方法、作業時の服装の注意事項、等の説明をします。その後、必要な道具の確認、必要な治具の確認、実際の加工に入る前の実験等、本格的な加工の準備を行います。進行の早い人は図面、部材表を作成します。</p>	<p>次週までに製作図面、部材表を完成させておくこと。作業服、道具、持参</p>
<p>第10週：木材の木取り、木作り、墨付け方法 1/1ツール製作 木取りの順序、木作り方法、墨付け方法を、レジュメと実際の木材を使用した説明を行います。資材の有効活用を図り、出来るだけ歩留まりを高めるように工夫することを主眼に取り組みます。その後、1/1モックアップ製作に入ります。</p>	<p>モックアップの製作を予定まで勧めておくこと。</p>
<p>第11週：木材の加工方法 1/1ツール製作 木材加工において、墨線や記号に従って正確に加工する手法と確認作業、効率よく安全に加工する方法をレジュメと実際の木材を使用した説明を行います。その後、1/1モックアップ製作に入ります。</p>	<p>モックアップの製作を予定まで勧めておくこと。</p>
<p>第12週：木材の仮組み方法 1/1ツール製作 嵌合度合い、仮組みについて、レジュメと実際の木材を使用した説明を行います。その後、1/1モックアップ製作に入ります。</p>	<p>モックアップの製作を予定まで勧めておくこと。</p>
<p>第13週：木材の仕上げ方法 1/1ツール製作 無垢の木材の仕上げ方法とその種類について、レジュメと実際の木材を使用した説明を行います。その後、1/1モックアップ製作に入ります。</p>	<p>モックアップの製作を予定まで勧めておくこと。</p>

第14週：木材の組み立て、素地調整方法 1/1ツール製作		モックアップの製作を予定まで勧めておくこと。
無垢の木材の素地調整の目的、種類、手法について、レジュメと実際の木材を使用した説明を行います。その後、1/1モックアップ製作に入ります。		
第15週：プレゼンテーション		1/5バルサ模型持参のこと。
学内、もしくは学外の公開された空間において(コンセプト、1/5模型、1/1モックアップ、箸、課題を終えての感想)の発表を各自5分で行います。学生の中からも意見を求めます。1/1モックアップに関しては課題の意図の理解度、使いやすさ、座れる強度、美しさに関して重点的に講評します。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考	夏季休暇の後半に県内の山林、工房等の見学会予定。授業が始まるまでに、各自木工手道具(のこぎり、ノミカッター)及び、基本的な採寸道具(巻き尺、定規、スコヤ、ノギス、等)出来るだけ購入し授業に持参すること。	

【関心・意欲・態度】	時間厳守で宿題、課題へ取り組む意欲を持っている。積極的に質問等が出来る。模範となる行動がとれる。
【知識・理解】	課題の意図、基本的な木材の特性、人間工学、ツールに必要な機能を理解出来ている。(使いやすさ)
【技能・表現・コミュニケーション】	設計、及び製作において合理性と効率化を計れる。周りの安全にも配慮が出来る。(強度)
【思考・判断・創造】	課題の意図を把握し、アイデアをより多く展開、発展出来る。深い思考力で目標に向かって集中力を維持出来る。(美しさ)

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安

レポート・作品等 (提出物)	<p>毎回アンケートの提出を求めます。コンセプト、好きなスツールのレポートの提出を求めます。1/1モックアップの完成品から、実用に堪えることを最低限の目標とし、その上で、より多くの要素を満たしたツールを高評価の対象とします。</p> <p>「Sレベル」単位を修得する為に達成すべき到達目標を満たしている。 「Aレベル」単位を修得する為に達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 「Bレベル」単位を修得する為に達成すべき到達目標を一定以上満たしている。 「Cレベル」単位を修得する為に達成すべき到達目標を一部満たしている。</p>
発表・その他 (無形成果)	<p>1/1モックアップ製作のプロセスを蓄積し理解した上での積極的な質問、発言を重要視します。 第7週目に1/5模型の中間審査を行い、最終日に1/1モックアップのプレゼンテーションを行う。</p>